

Next Season

次のシーズンの九博は……

特別展

京都・醍醐寺
-真言密教の宇宙-

2019年
会期 1月29日(火) ▶ 3月24日(日)
展示場所 3階特別展示室



文化交流展特集展示

たま
玉-古代を彩る至宝-

2019年
会期 1月1日(火・祝) ▶ 2月24日(日) 展示場所 4階文化交流展示室

などなど予定されています。次号もお楽しみに!



九州国立博物館
「アジアージュ」キャラクター
ア・ミュージちゃん

太宰府天満宮の権禰宜、
高山博子さんと

ACCESS

車
九州自動車道「太宰府」ICまたは「筑紫野」ICから
高雄交差点経由で約20分

JR
JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR
二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅
(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から
西鉄太宰府線利用

西鉄バス
博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)
から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩
約10分

西鉄電車
西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急
約16分/急行約19分)で西鉄二日市駅乗り換え、
西鉄太宰府線(約5分)で太宰府駅下車、徒歩
約10分 ※特急/急行料金不要

駐車場の空き情報
九州国立博物館周辺の駐車場の
空き情報がウェブでチェック
できます。右記QRコードで携帯
からもチェックできます。
※特別展会期中は混雑が予想
されます。



INFORMATION

開館時間	9:30~17:00(入館は16:30まで)、毎週金・土曜日は~20:00(入館は19:30まで)
休館日	月曜日 ※9月17日、24日、10月8日は開館 9月25日、10月9日、12月24日~31日は休館
文化交流展観覧料	一般/430円(220円) 大学生/130円(70円) ★特別展は別料金
特別展観覧料	明治150年記念特別展: オークラコレクション (開催期間: 10月2日(火)~12月9日(日)) 一般/1,500円(1,300円) 高大生/1,000円(800円)★小中生/600円(400円)★ ★学生証等の提示をお願いします

※文化交流展観覧料は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
※文化交流展観覧料の()内は有料の方が20名以上の団体料金。※特別展観覧料の()内は前売り、有料の方が20名以上の団体料金および当日17:00以降販売の夜間割引料金。※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。※高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は、文化交流展は無料。文化交流展示室入口にて生年月日が分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※特別展の観覧料で、文化交流展(平常展)もご覧いただけます。※満65歳以上の方は、特別展については()内料金でご購入いただけます。券売所にて生年月日が分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※キャンパスメンバーズの方は文化交流展は無料。特別展については()内料金でご購入いただけます。券売所にて学生証、教職員証等をご提示ください。



〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 太宰府天満宮横
ご案内 NTTハローダイヤル (8:00~22:00/年中無休)
050-5542-8600 ※オペレーターが対応します。
www.kyuhaku.jp きゅーはく 検索

メルマガ、ツイッターでも楽しい情報を発信しています。メルマガ <https://fofa.jp/kyuhaku/a.p/101/> Twitter @kyuhaku_koho をフォローしてね!

北緯33度31分、東経130度32分からあなたへ

Asi@dge

Discoveries for modern people

Vol.50
アジアージュ

Dazaifu
九州国立博物館
presents

Asi@dge

Discoveries for modern people vol.50

2018年9月18日発行

発行:九州国立博物館

本誌の全部または一部を無断で複製(コピー)することは禁じられています。

特別展 オークラコレクション

特集展示 坂本五郎コレクション

and more

「北斎」も



「若冲」も

九博でどうぞ

2017年に寄贈された坂本五郎コレクションより、葛飾北斎筆「日新除魔図」[重要文化財/江戸時代/九州国立博物館蔵]。

明治150年記念

特別展

古今の美を収集した、大倉父子の夢

オークラコレクション

会期 10月2日(火)▶12月9日(日)
会場 3階特別展示室



大倉喜八郎 [1837~1928]
数々の名門企業の礎を築いた人物。日本とアジアの美術を収集し、3件が国宝に。

日本のビジネス界だけでなく 美術界も牽引した父子の軌跡

帝国ホテル、サッポロビール、そしてホテル・オークラetc...
日本の近代化を支え、数々の名門企業の礎を築いた大倉家。一方で培われた高い審美眼は美術の世界へと向けられていきました。国内に現存する最古の私立美術館「大倉集古館」から偉大なコレクションが九博にやってきます。



大倉喜七郎 [1882~1963]
大倉財閥2代目。「ホテル・オークラ」の設立者。近代の画家たちを多大に支援。

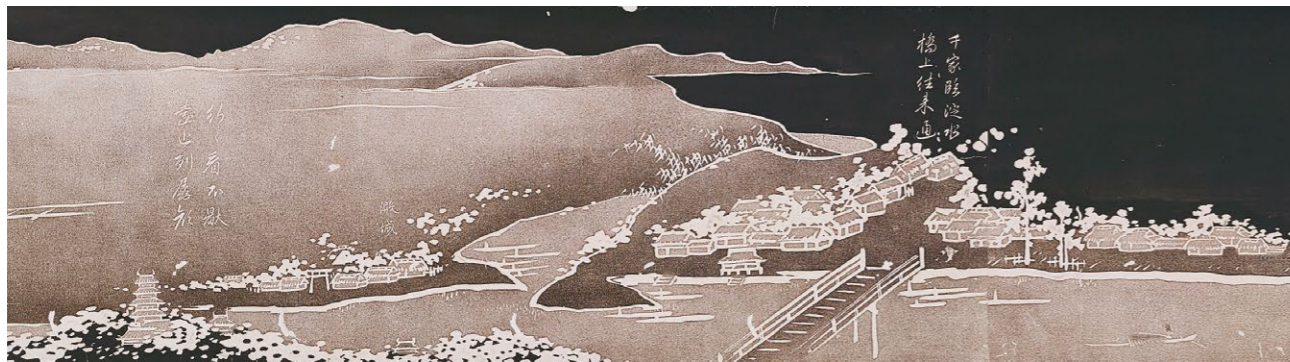


文化財課
主任研究員
山下善也

“華麗なる一族”の収集にかけた情熱を感じてください！

しょうきょうしゅう い どうじゃくちゅう
兼興舟 伊藤若冲画 [部分/江戸時代・明和4年(1767)]

若冲好きなら必見。明和4年(1767)に伏見から大坂(当時)へ淀川下りを楽しんだ気分のままをモノクロ反転の版画で表した異色の傑作。



ふげん ぼさつき そうぞう
普賢菩薩騎象像
[平安時代・12世紀] 展示期間:10月2日~10月21日
女性の救済を説く法華経とともに平安貴族女子の間で信仰を集めた。普賢菩薩像の名品中の名品として人気が高い。

「日本美術の王道」と呼ぶにふさわしい名品がずらり

初代・二代目の大倉父子の収集を中心とした「大倉集古館」の日本美術の名品群。時代は平安・鎌倉時代から近代まで、分野は絵画・書跡・彫刻・工芸など各種。この国の文化財保護と明治維新以降の経済をリードした、父子の確かな目がぎゅっと凝縮された展示です。



ずいじんてい き えまき
隨身庭騎絵巻
[部分/鎌倉時代・13世紀] 展示期間:11月6日~12月9日
「似絵」と呼ばれた、人物の特徴を誇張して描いた画風。流麗かつユーモラスに描かれたのは天皇警護役の「隨身」。

2 日本人の海外美術観も示す中国、朝鮮、東南アジアの美術コレクション

明治維新、日本の近代化を経て、実業家として大陸や東南アジアにビジネスを展開した大倉喜八郎。国の混乱により散逸した中国美術をはじめ、朝鮮、タイ、インドの美術にも及んだ喜八郎の収集は、古来より続く日本人の海外美術への視線を表したものとしても高く評価されています。



喜八郎さんは大正4年に男爵に。喜七郎さんも爵位を受け継いで「パロンオークラ」と呼ばれたんだ。

九州国立博物館「アジアージュ」キャラクター
ア・ミュージちゃん

女性を神(ミューズ)に見立てつくられた土偶がモチーフ。そしてアミュージメント(楽しみ)を広げる役割を、という意味も込め名づけられた新キャラクターです。どうぞよろしく！

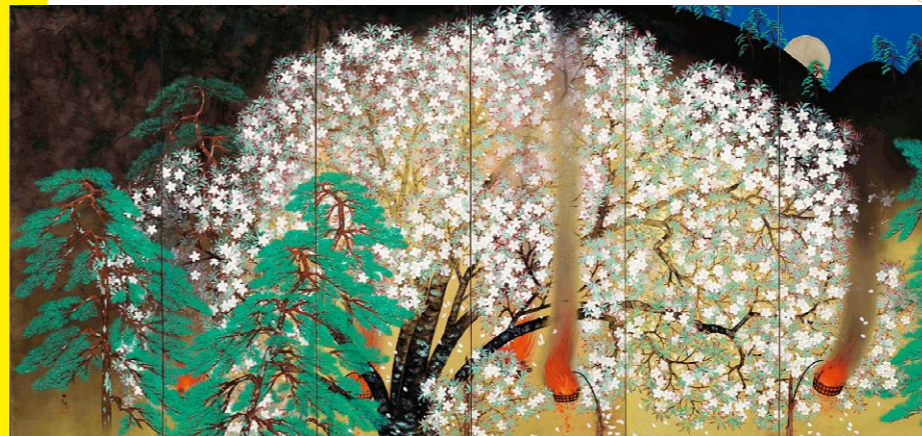
昭和5年(1930)ローマ開催の「日本美術展」

同展会場の建物はイタリアの古典建築様式です。今回は当時の模様を一部再現し、作品を展示予定です。



3 現在誰もが知る近代の名画家たちを支援した喜七郎の功績が一堂に

現代の名だたるビジネスパーソンが現代アートに傾倒するのと同様に、昭和初期の喜七郎は当時のトップ名画家たちを厚くパトロネージュ(支援)しました。横山大観、竹内栖鳳ら総勢80人の新作とともに乗り出したローマにおける大展覧会はまさに集大成的なイベント。今回は同展に出品された名画も数々紹介します。



せいめいじょう か ず かん きやうえい かん
①清明上河図巻「仇英」款
[部分/中国・明時代・16世紀] 展示期間:10月2日~11月4日
「洛中洛外図」の原形ともされる画題が「清明上河図」。旧暦3月、春分から15日目の「清明節」を祝う北宋の首都の風物を描いたもの。

ほう かん ぶつりゅうぞう
②宝冠仏立像
[タイ・ラタナコーシン時代・19世紀]
タイ王朝で流行した美しく飾った仏=「莊嚴仏」。王族の装飾具を象ったもの。

みみずく ぞ
③木菟図
[部分・小林古径筆/昭和4年(1929)] 展示期間:11月6日~12月9日
暗闇の中、紅梅の枝にとまった木菟が浮かび上がる。日本画の巨匠・小林古径が、写実と装飾を調和させ、単純化した構図の中に雅なムードをたたえた傑作。

よざくら よこやまたい かん
④夜桜 横山大観筆
[左隻/昭和4年(1929)] 展示期間:11月6日~12月9日
喜七郎が全面支援した昭和5年(1930)ローマ開催の「日本美術展」出品画家の代表を務めたのが大観。同展に向け描かれた、最重要作のひとつ。

け あい たけうち せいほう
⑤蹴合 竹内栖鳳筆
[昭和4年(1929)] 展示期間:10月2日~11月4日
独特の写生観が冴える代表作。東の顔が大観なら西は栖鳳。写生を重視した円山四条派を受け継いだ京都画壇を当時牽引した。



※すべての作品の所蔵者は、東京・大倉集古館です。

Collection

九博の4階では研究員による個性的な視点とテーマ性に富んだ「特集展示」を開催しています。この秋はこちらの3つにご注目ください。

“稀代の目利き”坂本五郎氏寄贈の
コレクションから名品の数々を皆様に
(九博の所蔵件数は1000件突破!)

撮影OK!

特集展示 #坂本コレクション

坂本五郎コレクション受贈記念 北斎と鍋島、そして

国内外でその名を馳せた古美術商・坂本五郎氏(1923~2016)。その類まれな鑑識眼はロンドン・クリスティーズのオークションに出品した陶磁器が世界最高額(1972年当時)で落札されるなど数々の逸話を遺しました。昨年、その遺志により259件が九博に寄贈され、九博の所蔵件数はついに1,000件を突破。今回の展示ではその偉業を讃え、重要文化財2件、重要美術品4件を含む名品の数々を大々的に公開します!



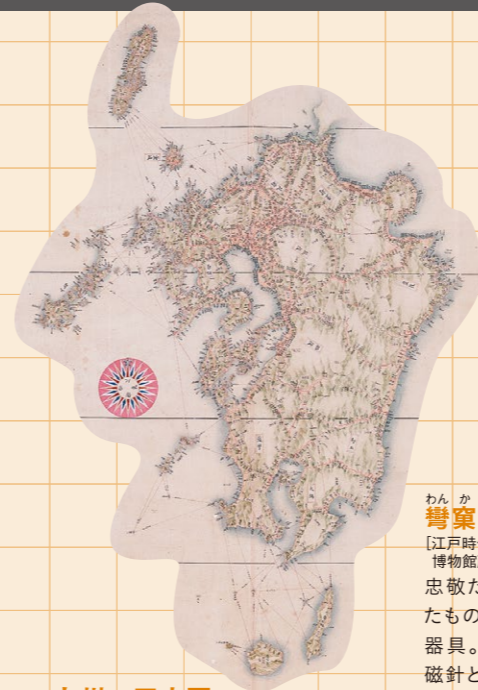
企画課研究員
望月規史



重文

日新除魔図 葛飾北斎筆

[江戸時代・天保13~14年(1842~43)]
北斎が83~84歳のときに朝の日課として描き続けた獅子図、じつに219枚。「日新除魔」の名のとおり、毎朝魔を除け、長寿の祈りを込めようと描いたもの。最晩年の作風を知らせる貴重な肉筆画。



九州一円之図

[部分/江戸時代・文政4年(1821)/松浦史料博物館蔵/展示期間:前期]

平戸藩(現・長崎県)9代藩主・松浦清(清山)と忠敬の間で授受の約束がされた「伊能図」。忠敬は志半ばで亡くなるも弟子たちが製作、献上した。

地図のパイオニア、
伊能忠敬没後200年記念!
当時使用された測量器も登場



樽窠羅針

[江戸時代・19世紀/松浦史料博物館蔵/展示期間:通期]
忠敬たちが実際に使ったものと同じ年代・様式の測量器具。杖の先に取り付け、方位磁針として使用。



企画課研究員
松浦晃佑



特集展示

#伊能図

平戸松浦家伝来の 伊能図

伊能忠敬(1745~1818)と弟子たちは17年をかけ、日本全国を測量し「大日本沿海輿地全図」を製作。しかし正本は明治期に焼失し、現在目にする「伊能図」とは、各地に遺った「副本」や「写本」です。今回、忠敬没後200年を記念して公開される松浦家の「伊能図」は、その中でも優品とされるものばかりです。

会期 10月30日(火)▶11月25日(日) 後期 11月27日(火)▶12月23日(日・祝) 会場 4階 文化交流展示室 第11室

※11月4日(日)、12月8日(土)にミュージアムトークあり



洛中洛外図屏風

[右隻/江戸時代・17世紀]

京都の洛中(市街)と洛外(郊外)の名所を描いたロングセラーの絵柄。今でも170件以上のこころうちでも優れた作品。この作は約400年前の風景が描かれたものと考えられている。

これらの作品は
九博でしか
見られないんだ。



椀松梅図 甌口釜

[室町時代・16世紀]

九博に寄贈されたコレクション中、最も数の多いものが茶釜。これは坂本氏と交流のあった作家・吉川英治氏が所蔵していた一品。茶釜の祖、西村道仁作ともされる優美かつ自由な造形が魅力。



坂本五郎

[1923-2016]
昭和22年(1947)、東京に古美術商店「不言堂」を創設。開業後はその鑑識眼で名品を次々と見出し、国際美術市場にも進出。また美術を通じた多くの文化人、財界人との交流でも知られた。

特集展示

#大宰府研究

大宰府史跡発掘50年記念 大宰府研究の歩み

昭和43年(1968)に開始された大宰府史跡の発掘調査は平成30年(2018)でちょうど50年。その成果は日本の古代史解明に直結するものとして現在も注目され続けています。また、江戸時代にも既に大宰府の調査・研究は盛んに行われてきました。今回の展示は、貴重な発掘品や研究資料を通して、長きにわたって、大宰府に向けられてきた人々の熱い研究心を俯瞰できるまたとない機会です。



水城の切堀図 久富寿年筆

[部分/大正2年(1913)/東京大学日本史学研究室蔵/展示期間:10月30日~12月23日]

水城とは唐や新羅からの侵略に備え、今の太宰府市から大野城市、春日市の域にまたがり築かれた土の城壁。これはJR(旧国鉄)鹿児島本線の工事の際に描かれた断面のスケッチ。

江戸時代から続く
飽くなき大宰府への探究心

重文

鬼瓦

[奈良時代・8世紀]
大正時代に政庁跡北側の畑で見つかった鬼瓦。農作業中に偶然発見される瓦片は「都府楼(大宰府の庁舎)」の名残として、古くから人々に認識されてきた。



展示課研究員
小嶋 篤



会期 9月12日(水)▶12月23日(日・祝) 会場 4階 文化交流展示室 3テーマエリア および 第7室 ※11月11日(日)にミュージアムトークあり

会期 9月12日(水)▶10月21日(日) 会場 4階 文化交流展示室 第1・9・10・11室 ※10月2日(火)、10月16日(火)にミュージアムトークあり

九博は親書



太宰府の地より皆さまへ、最新のおしらせと季節のおたよりをお届けします。

Letter from Kyuhaku September-December, 2018

アニメーズメント

「はらのむし」が
ショートアニメになります
『はらのむし in きゅーはく!』公開!



織田信長が活躍した時代の医学書「針聞書(はりききがき)」に登場する奇妙な虫たち「はらのむし」。当館文化交流展示室やあじっば、ミュージアムショップなどでおなじみのこの「はらのむし」たちを主人公とする九博オリジナルアニメが公開されます。制作は全国放映のテレビCMや、SNSを中心に大人気のアニメ「放課後ミッドナイト」を手がけるモンブラン・ピクチャーズ。来春、九博ホームページなどで公開予定です。お楽しみに!

館長ノススメ



天満宮の現代アートを知っていますか?

島谷館長の太宰府的リコメンドVOL.1

九州国立博物館長 島谷弘幸



太宰府天満宮は近年、現代アートへの取り組みでも注目を集めています。なかでも島谷館長が注目したのが、新しいコンセプト・アートで知られる英国人アーティストのライアン・ガンダー。「天満宮は複数のガンダー作品を所蔵するのですが、4点は境内で参詣した誰でも見られるエリアにあります。とりわけお気に入り、天満宮が2006年から催す『太宰府アートプログラム』の一環でガンダー

が太宰府を訪れ、制作した作品のひとつ《Everything is learned, VI | すべてわかった VI》。ロダンの彫刻「考える人」が立ち去った後を想像したものといいますが、哲学的で示唆に富んだ風景が広がっているんです。そんなガンダーの、ユニークな作品は太宰府天満宮の太鼓橋から九博へ向かう途中の梅林の中にあります。ほかにも境内の宝物殿前、幼稚園前や「浮殿」の中でも見ることができます。

※浮殿の作品は神奉式大祭(9月21日~25日)期間中はご覧いただけません。

募集

「九州国立博物館賛助会」会員募集のおしらせ

「九州に国立博物館を!」という100年の悲願を叶える形で、国内4番目の国立博物館として2005年に誕生した九博。そんな九博を応援していただいている皆様の会員組織が「九州国立博物館賛助会」です。皆様からいただいたご支援は作品収集、教育普及活動

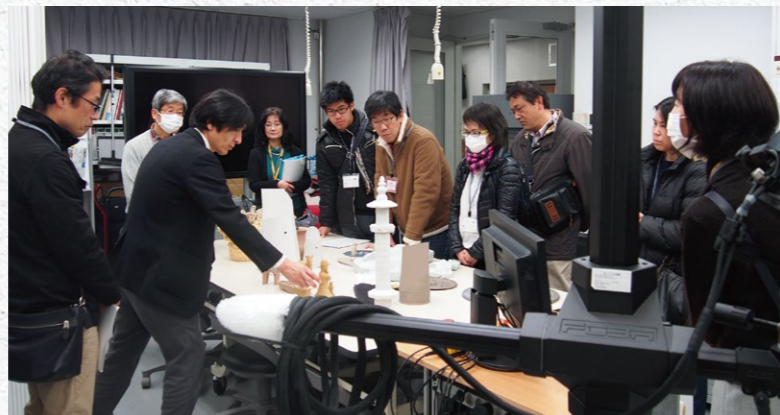
などさまざまに有効活用させていただきます。毎年行われる定例の報告会にて皆様との交流の場もご用意しております。

お問合せ 九州国立博物館 総務課 ☎092-918-2842

「博物館のサポーター」という楽しみ!



イベント



年に一度のマニアック・バックヤードツアー 文化財保存修復の現場へようこそ!

毎週日曜日に実施されているバックヤードツアー。実は年に一度だけ行われるスペシャル版があることをごぞんじでしょうか。「特別公開 文化財保存修復施設」では、通常時および毎週のバックヤードツアーでは一切公開されない博物館

科学諸室や文化財保存修復施設内をご見学いただけます。当ツアーの解説は、博物館の研究員と修復技術者という現場の面々なのでリアルなお話も盛りだくさん。年に一度ですので、この機会をお見逃しなく!

実施日	所要時間	定員	お問合せ
11月18日(日) ①13:15~②15:15~	1時間程度(変動の場合あり)	各回30名(応募多数の場合抽選となります)	☎092-918-2837(博物館科学課)
10月22日(月)			※九博HPから申込書をダウンロードし、メールまたはFAXでお申し込みください。

サークル

「きゅーはく女子考古部」を知っていますか?

応募殺到!の部活です

2015年にスタートした「きゅーはく女子考古部」も今年で4期目。福岡をはじめ全国から集まったさまざまな年代の考古女子約20名が、月に1度のペースで古墳・遺跡巡りのツアー、古代衣装製作、古代料理の再現、鹿角や滑石を使ったアクセサリー作りなど自主活動を多彩に実施して



います。3月には1年の活動をまとめた報告誌「女子的考古学のスズメ」の発行や発表会を兼ねたイベント「古代の宴」を開催。第5期は2019年4月に募集予定です。詳しくは女子考古部のページで! <https://www.kyuhaku.jp/j-kouko/index.html>

勉強会



青銅器目線のシンポジウムです

「響銅」という極薄青銅器

9月15日(土)~12月23日(日・祝)の会期で文化交流展「たたいて削って青銅器—東アジアの響銅」が開催されます。「響銅でつながる太宰府と東アジア」というタイトルでシンポジウムも開かれます。太宰府で出土した響銅を基に、正倉院宝物などにも見られる響銅の魅力をひもときます。

11月23日[金・祝] 13:30~16:00

場所 九州国立博物館ミュージアムホール
受講料 無料 定員 250名
お問合せ 九州国立博物館 企画課 ☎092-918-2851

グルメ



黒毛和牛をぜいたくに使った秋の人気メニュー

九州産黒毛和牛のバラ肉がたっぷり乗ったすき焼き重は秋の人気メニューです。肉の旨味を際立たせているのは、割り下に使った赤ワイン。温泉卵と一緒に頬張ればなんともいえない口福が広がります。お吸い物、香の物付き。

九州産黒毛和牛のすき焼き重 温泉卵添え 1,800円(税込) / レストラン グリーンハウス

人気の豆皿が再入荷

食卓に北斎のエスプリを

小さくて愛らしい豆皿は何枚持ってもまた欲しくなってしまうもの。ミュージアムショップには北斎漫画が描かれた豆皿が再入荷いたしました。食卓のアクセントやプレゼントにいかがですか?

豆皿(小2寸)5枚セット2,700円(税込) / 1階ミュージアムショップ



PR

和モダン空間で食す名物の「親子丼」



親子丼 1,080円(税込)

参道の中でもひと際目を引く、京風の町屋造りの建物がお食事処「笠乃家」。古材を多用した落ち着いた店内に入ると参道の喧騒が嘘のようです。一番のおすすめは、多くの丼好きがその美味しさを絶賛する「親子丼」。じっくり6時間かけてとった鶏ガラベースの割り下でたっぷりの卵を2度にわたって使った、絶妙なふわとろ感。お出汁の効いた鶏肉と卵がからんで食欲をそそる一品です。

笠乃家
☎太宰府市宰府3-2-43 ☎092-922-5582 10:00~17:30 無休

ショップ

グルメ

スポット